



2015年3月期 通期
決算説明会
2015年5月21日

証券コード：9324 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

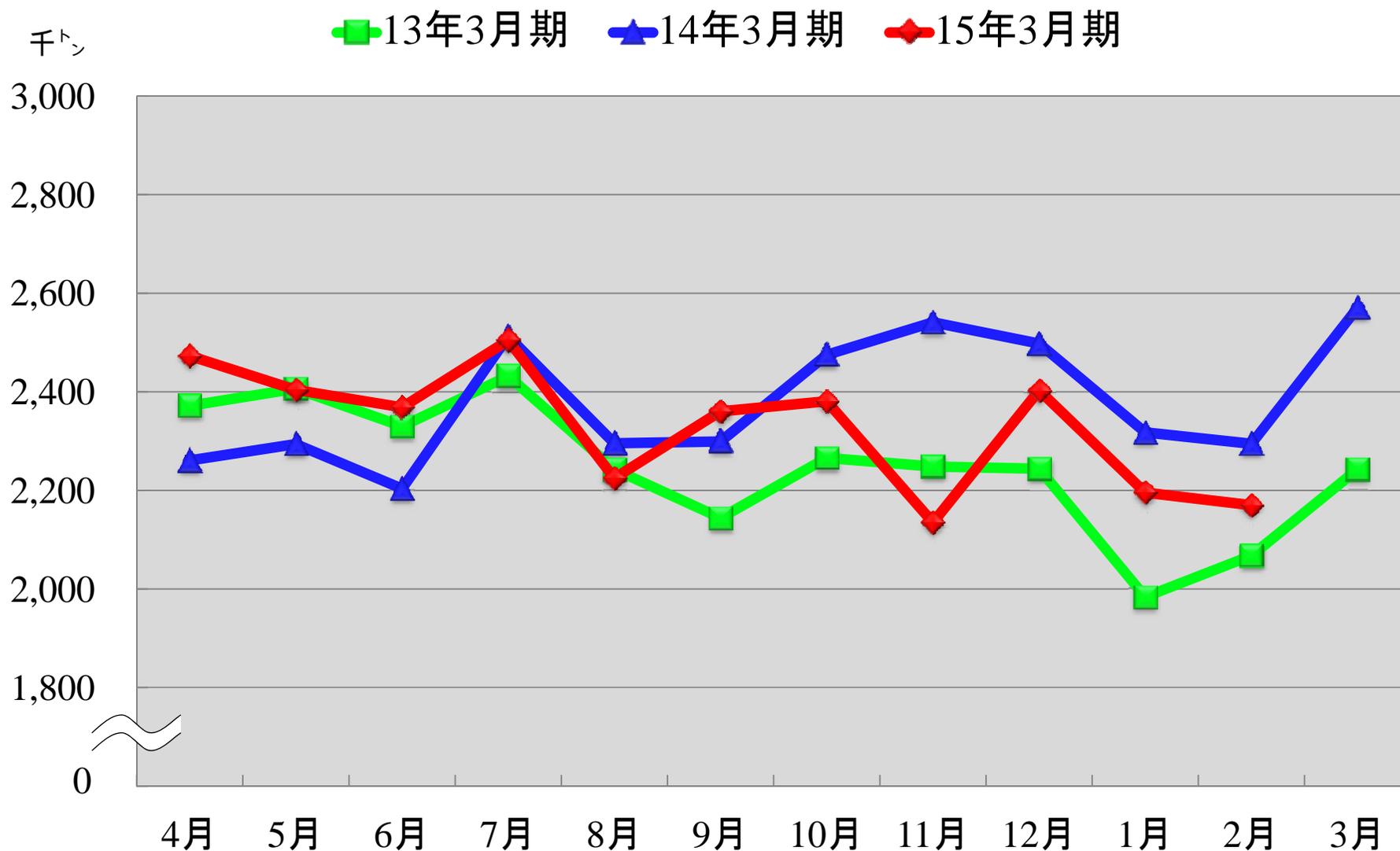
1. 環境認識

2. 2015年3月期 通期の実績

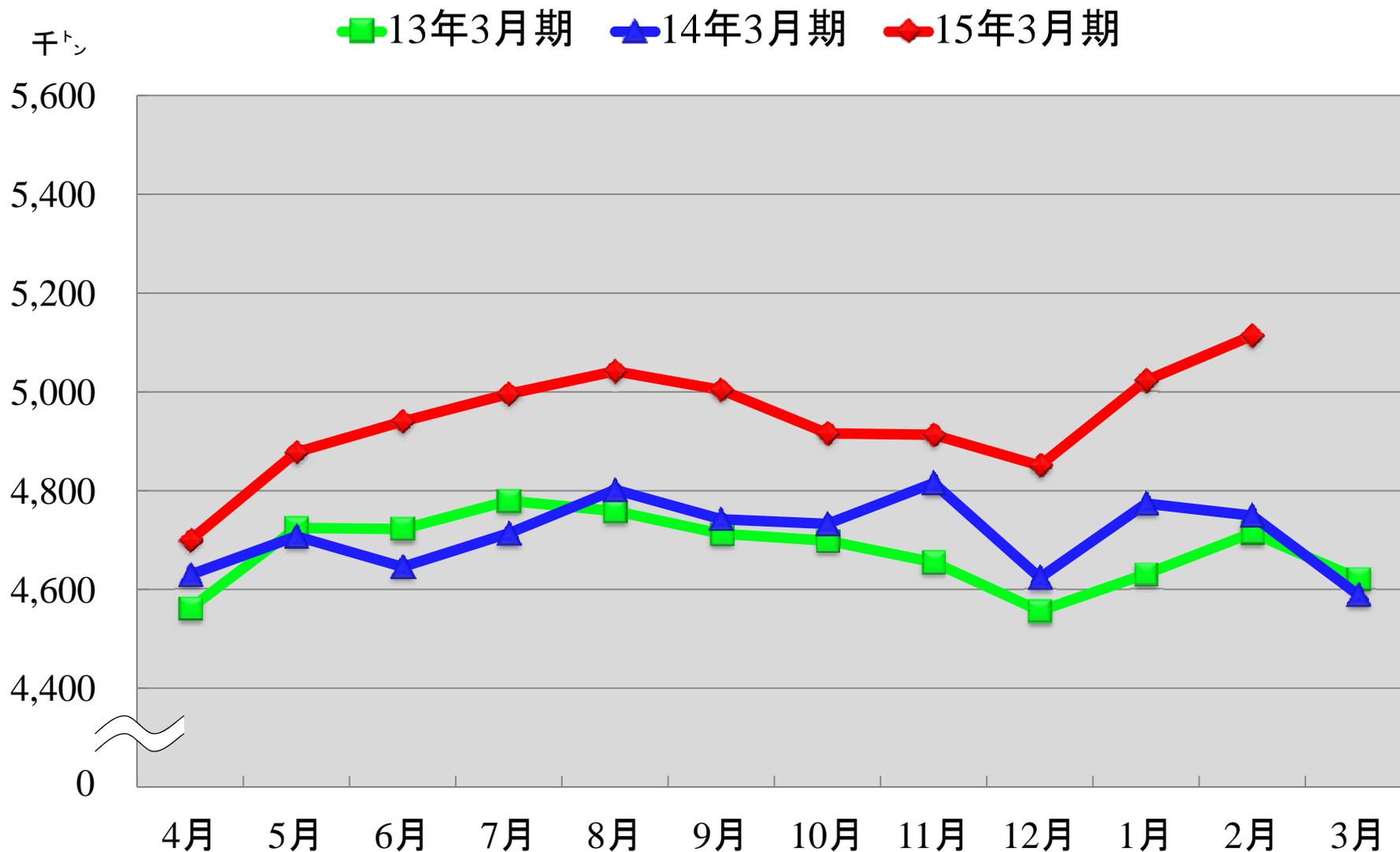
3. 2016年3月期 通期の見通し

1. 環境認識

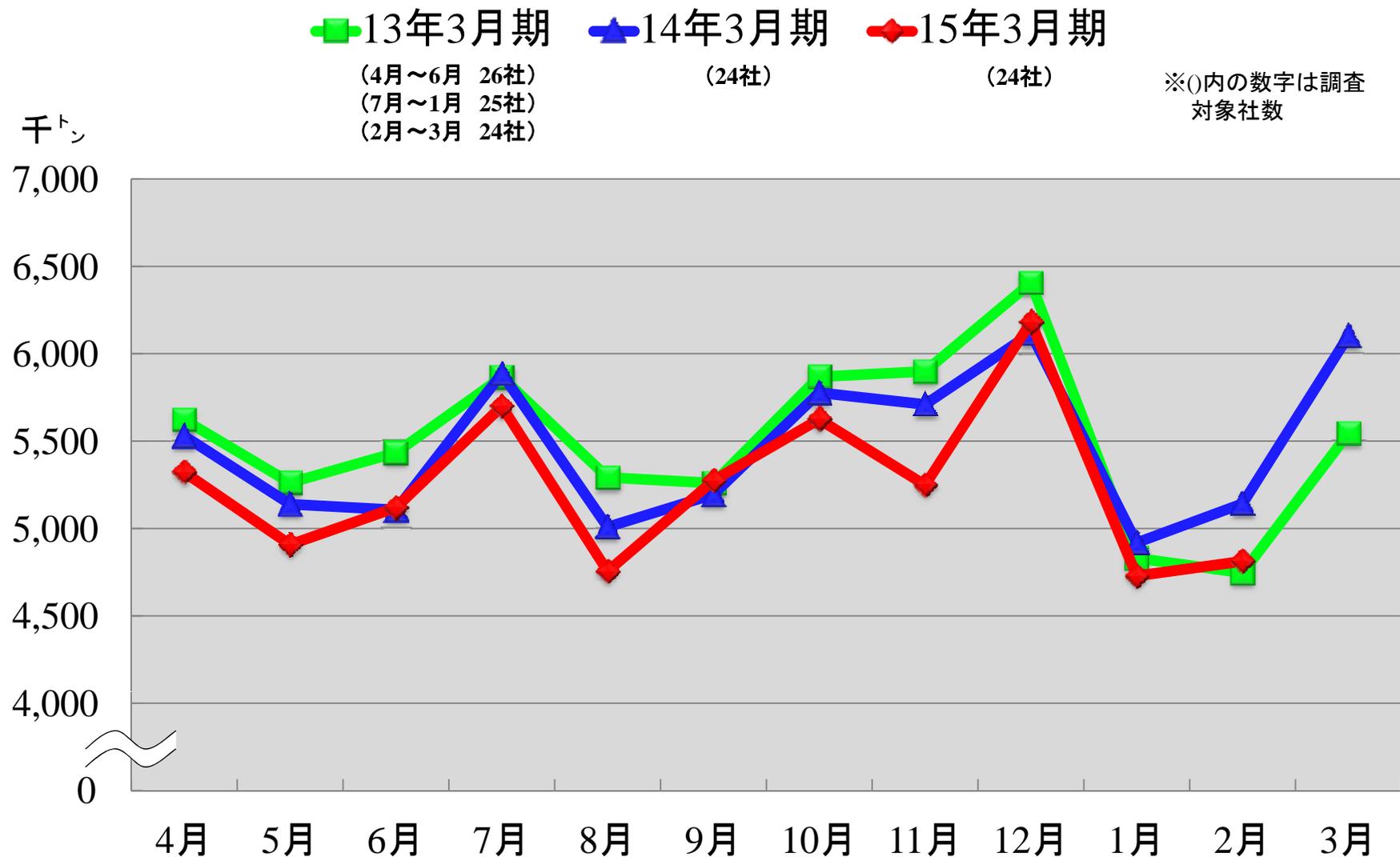
普通倉庫21社統計 入庫高



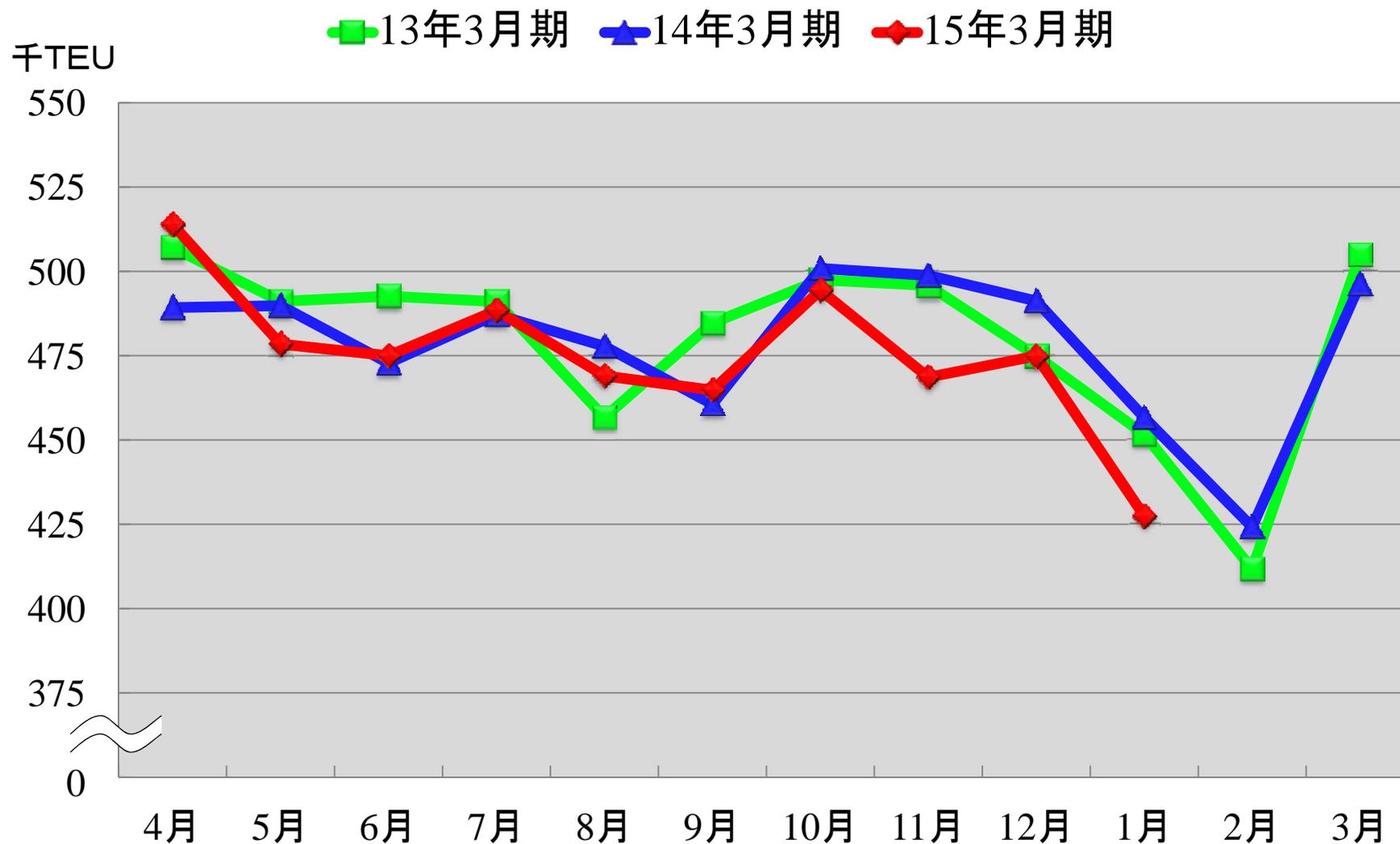
普通倉庫21社統計 保管残高



特積貨物輸送トン数



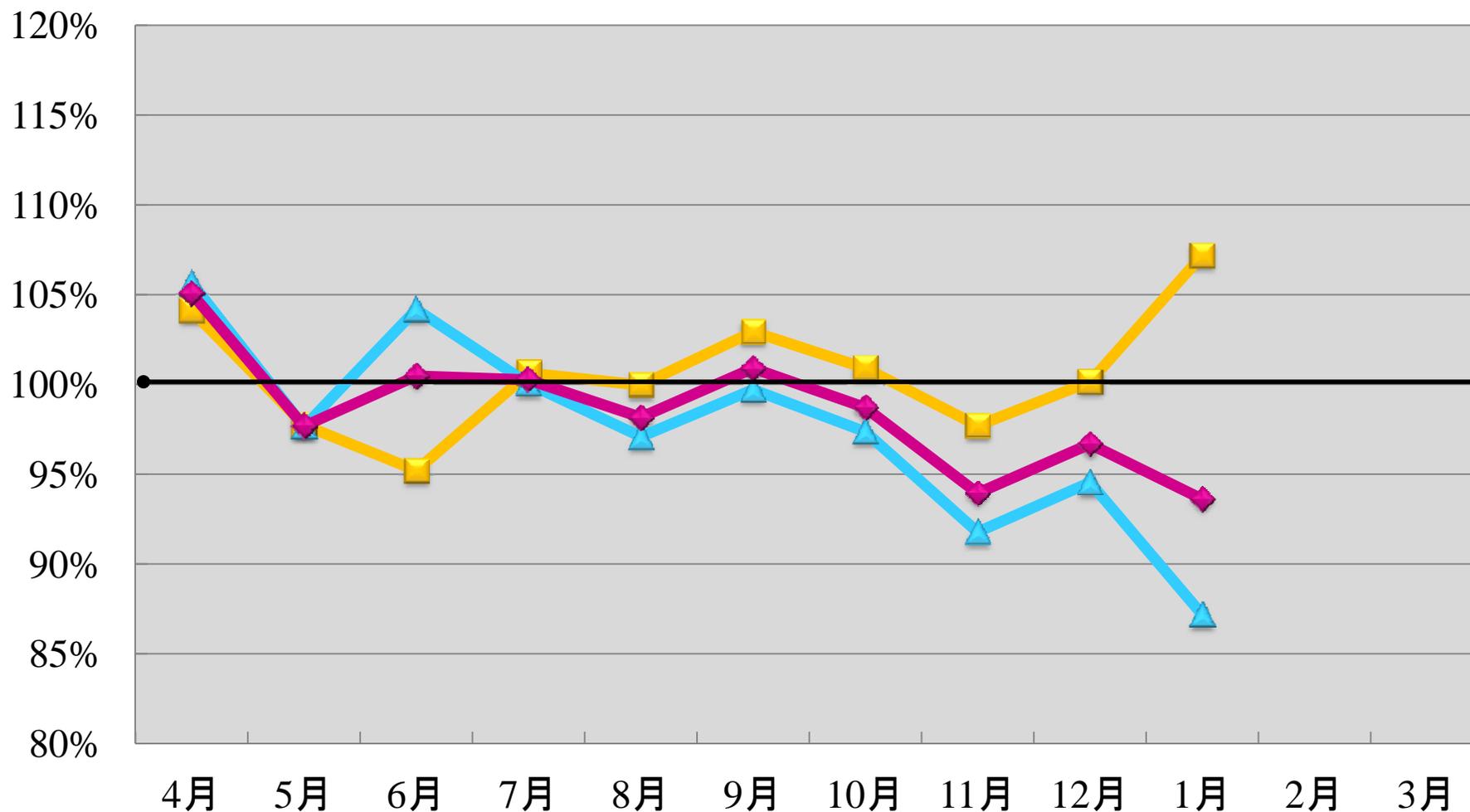
コンテナ取扱本数(京浜港)輸出入合計



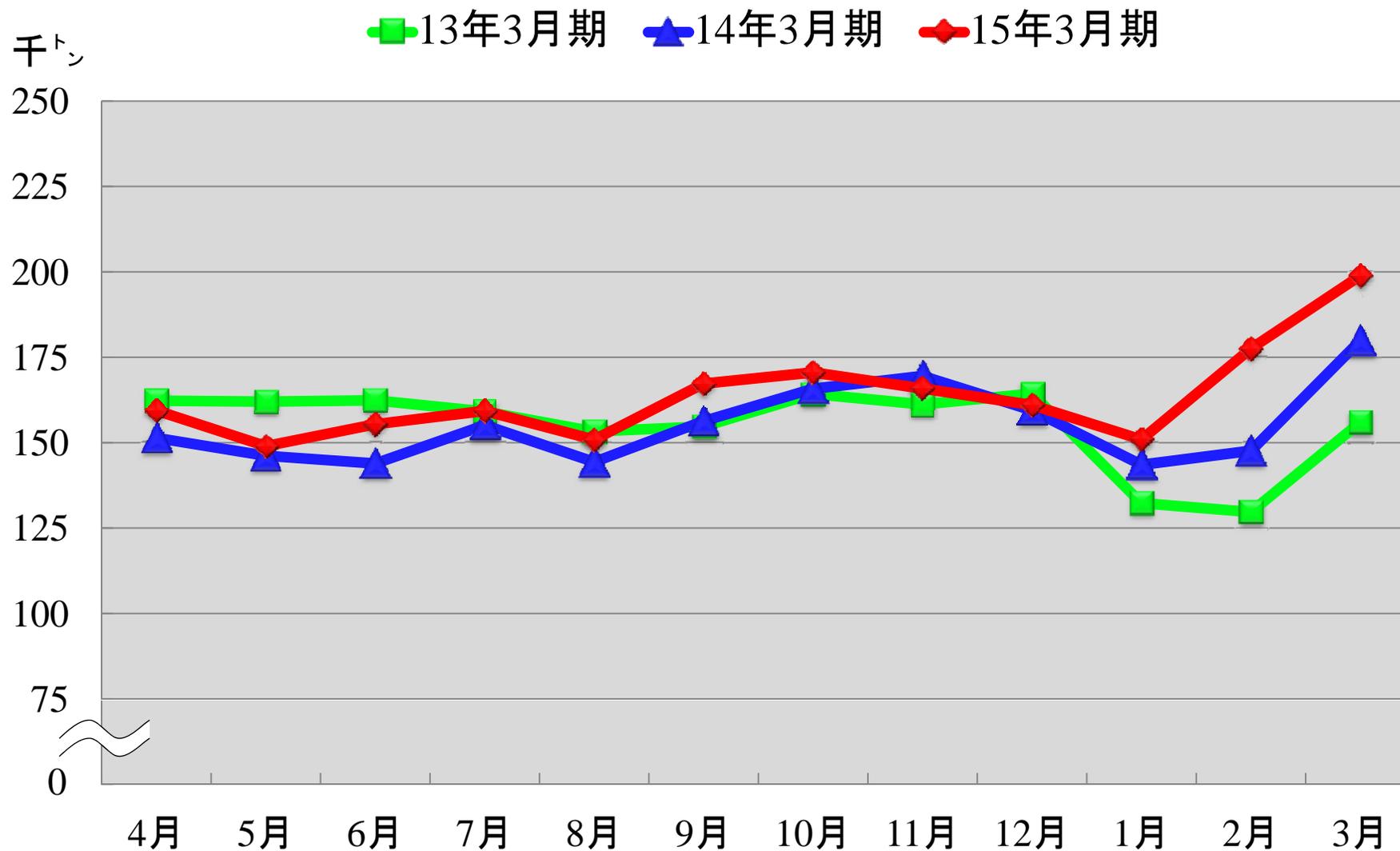
コンテナ取扱本数(京浜港)前年同月比



■ 輸出 ▲ 輸入 ◆ 合計



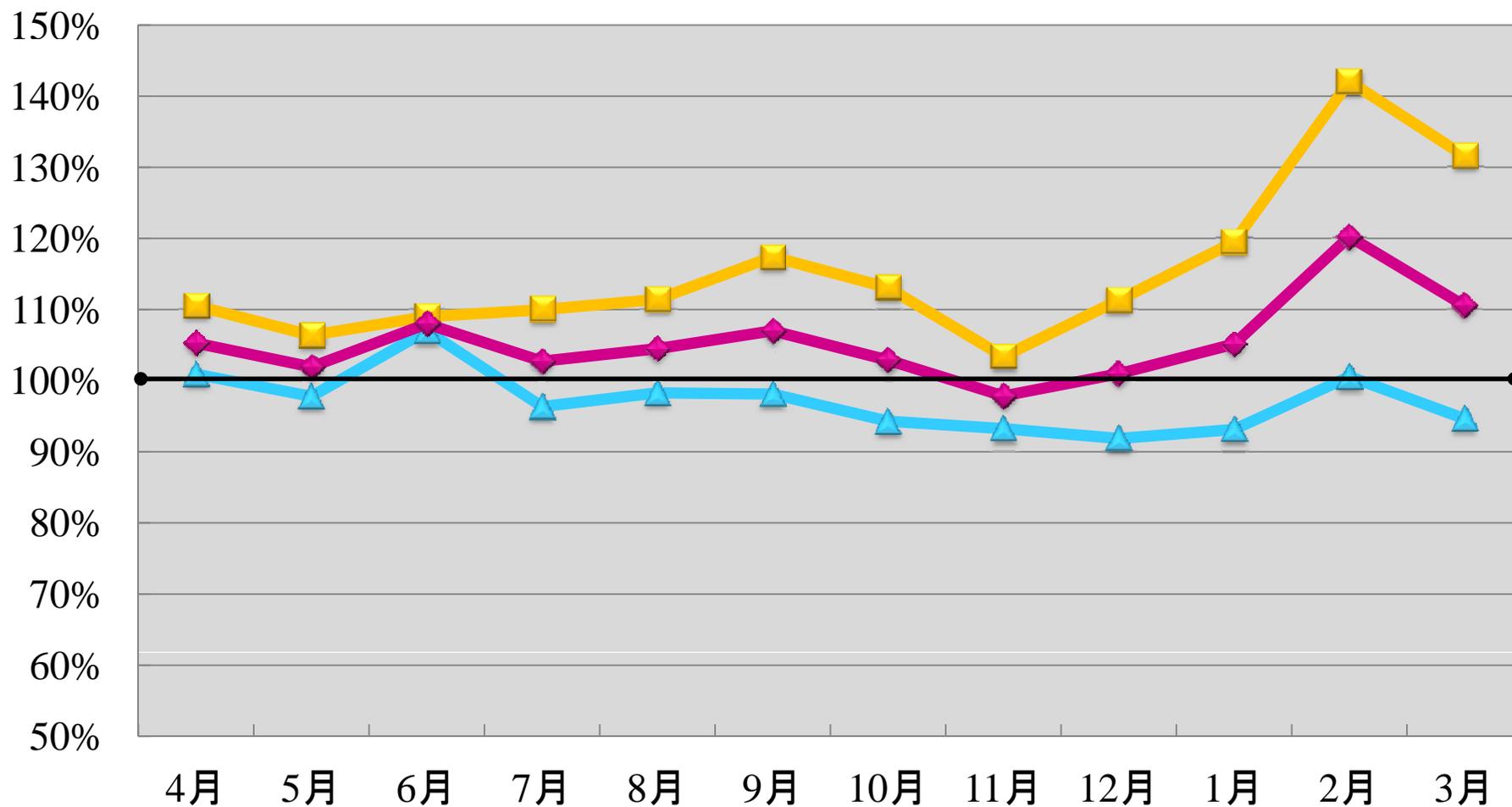
国際航空貨物取扱量 輸出入合計

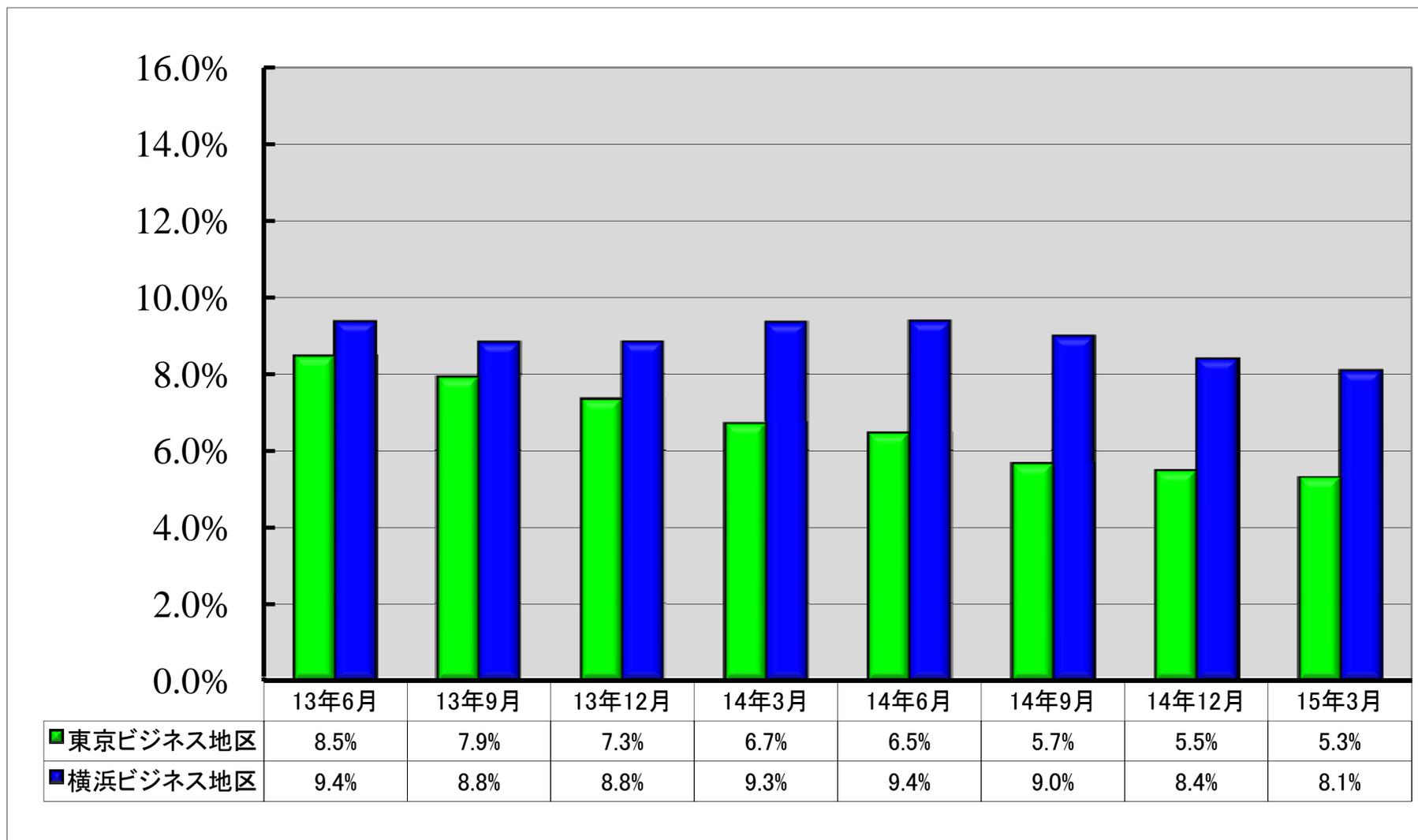


国際航空貨物取扱量 前年同月比

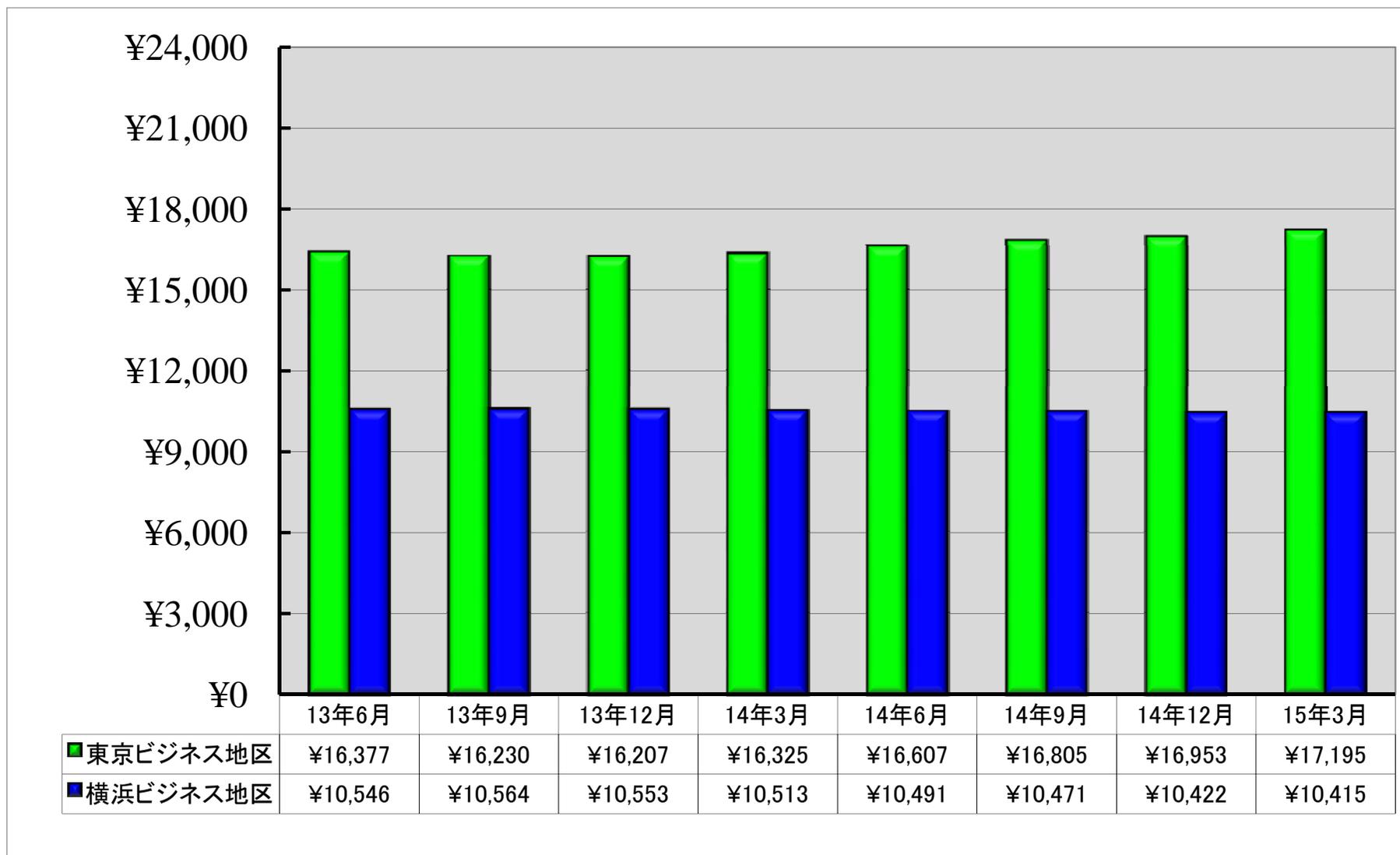


■輸出 ▲輸入 ◆合計





募集賃料相場(円/坪)



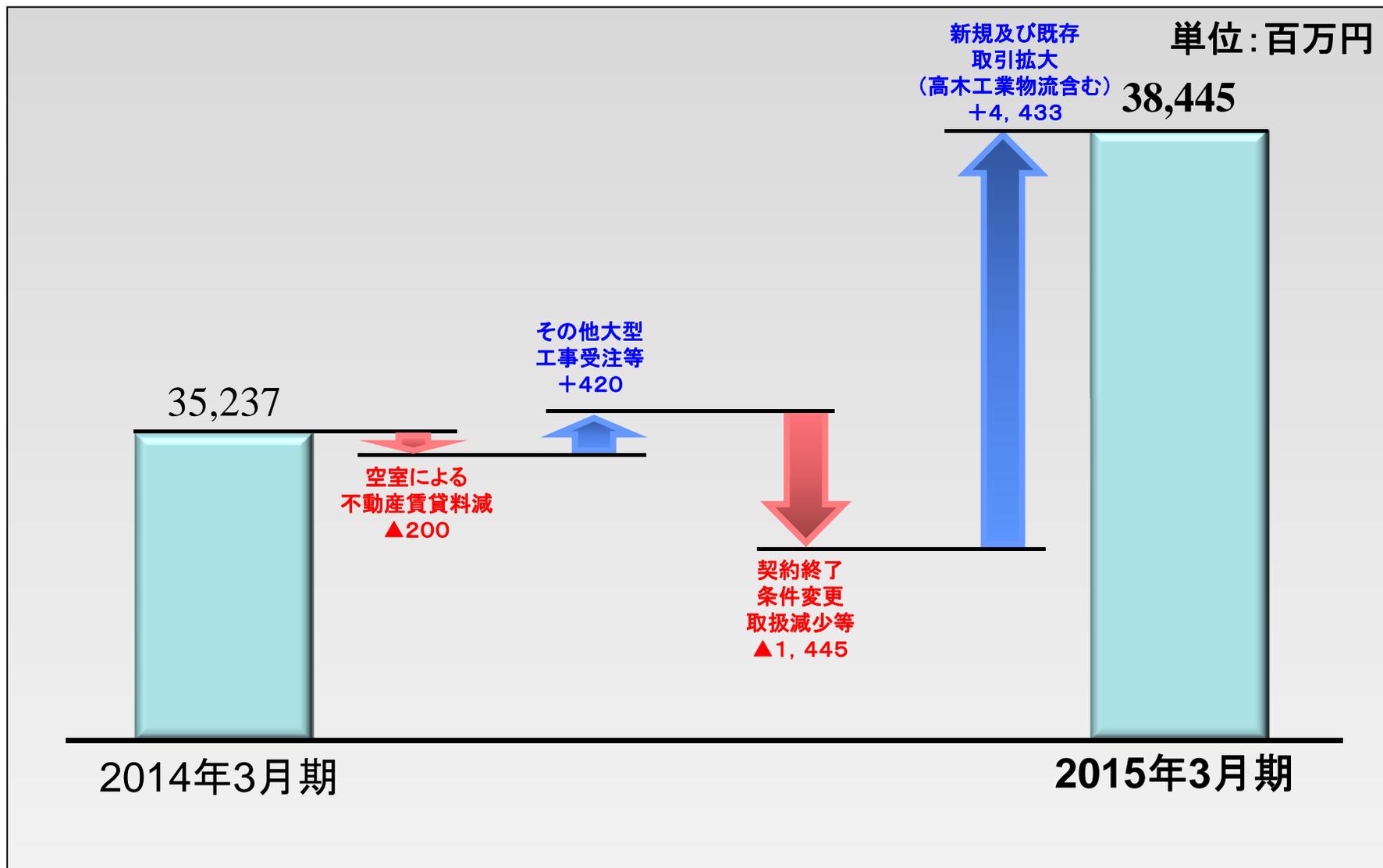
2. 2015年3月期 通期の実績

単位:百万円

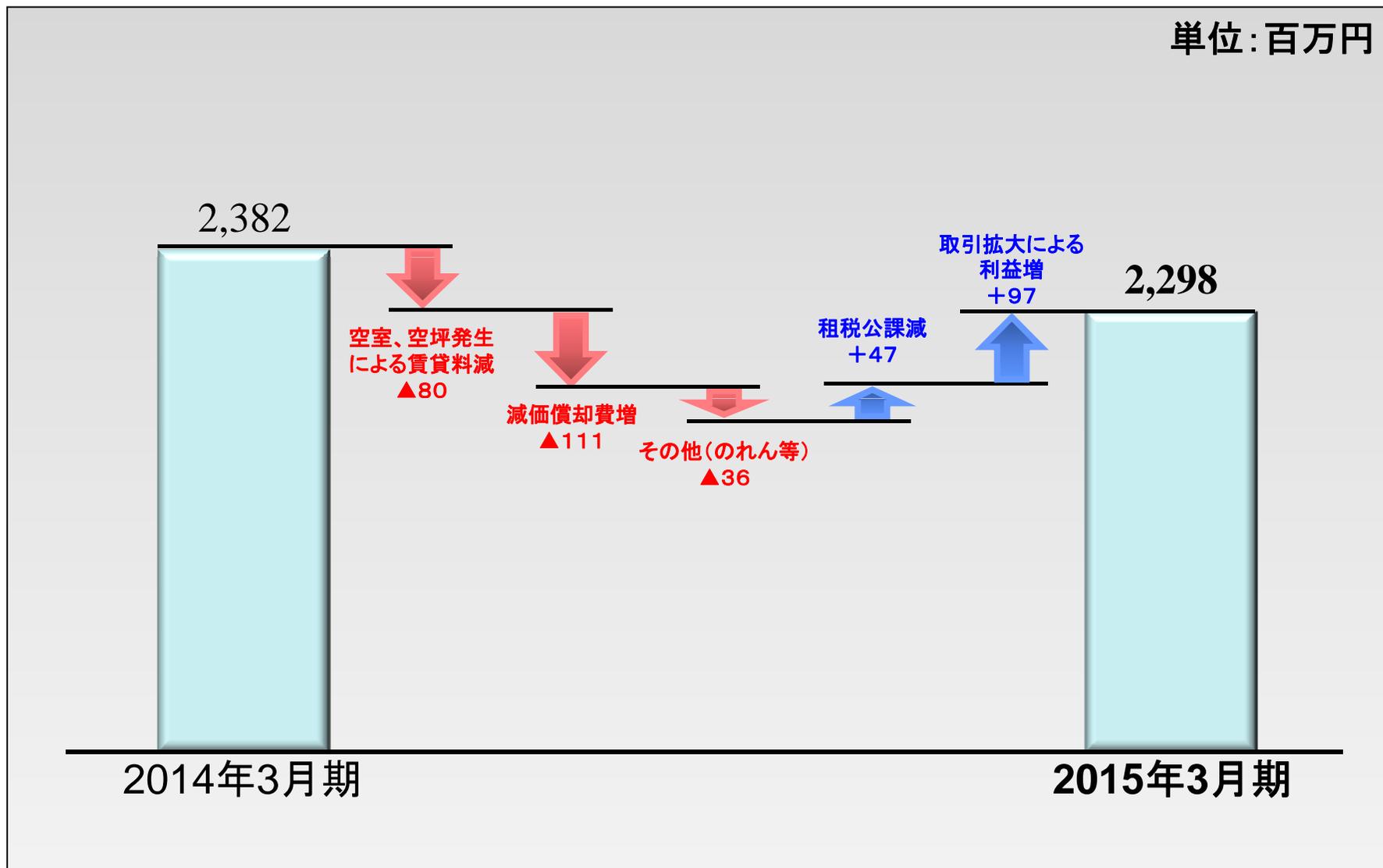
	連結		前年同期比	
	14/03期	15/03期	増減額	増減率
営業収益	35,237	38,445	3,208	9.1%
営業利益	2,382	2,298	▲83	▲3.5%
経常利益	2,544	2,565	21	0.8%
当期純利益	1,564	1,636	71	4.6%
1株当たり当期純利益(円)	51.55	53.91	2.36	4.6%
営業収益営業利益率	6.8%	6.0%	▲0.8pt	—

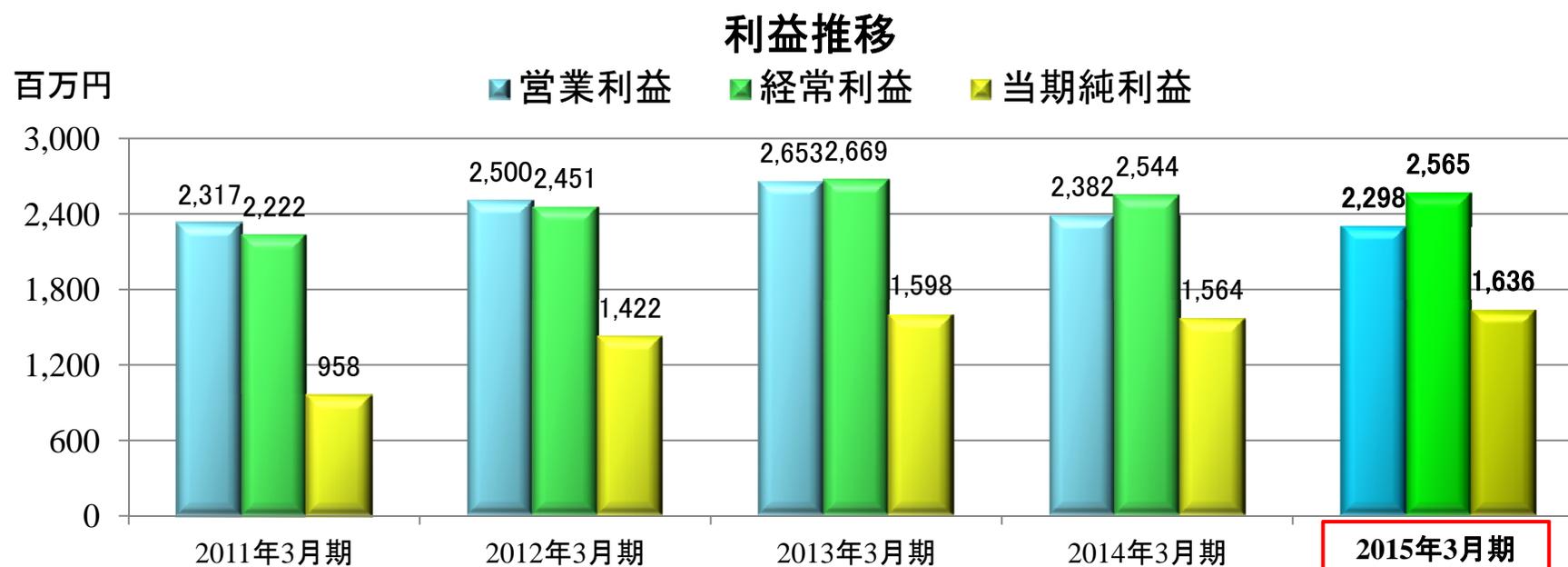
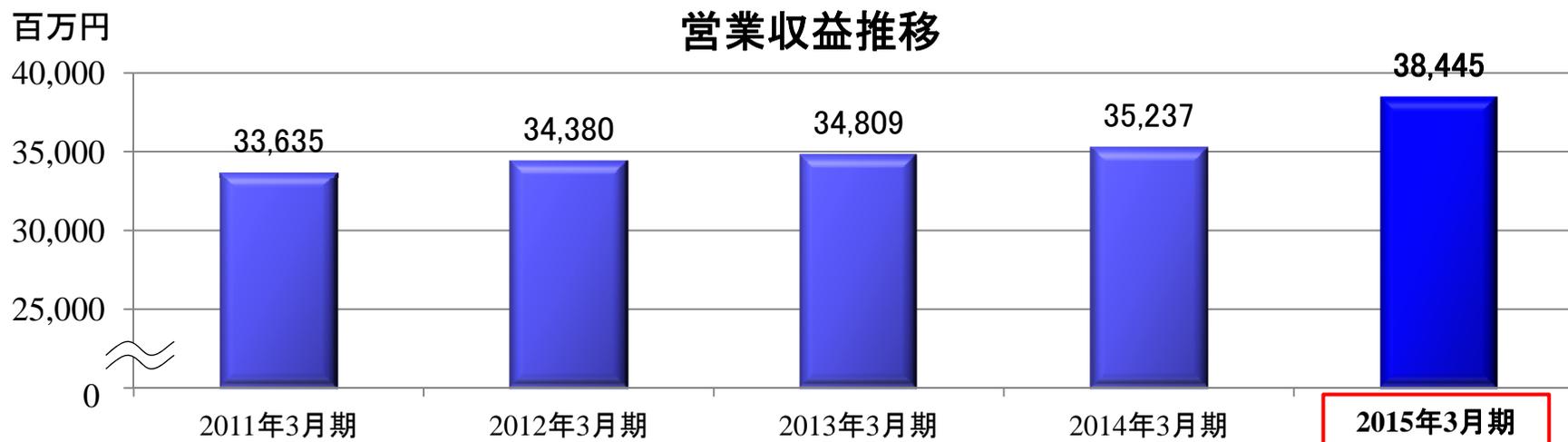
総資産	114,613	114,566	▲47	▲0.0%
純資産	62,630	65,396	2,765	4.4%
自己資本比率	54.5%	56.9%	2.4pt	—
1株当たり純資産(円)	2,056.89	2,147.21	90.32	4.4%

営業収益の主な変動要因



営業利益の主な変動要因

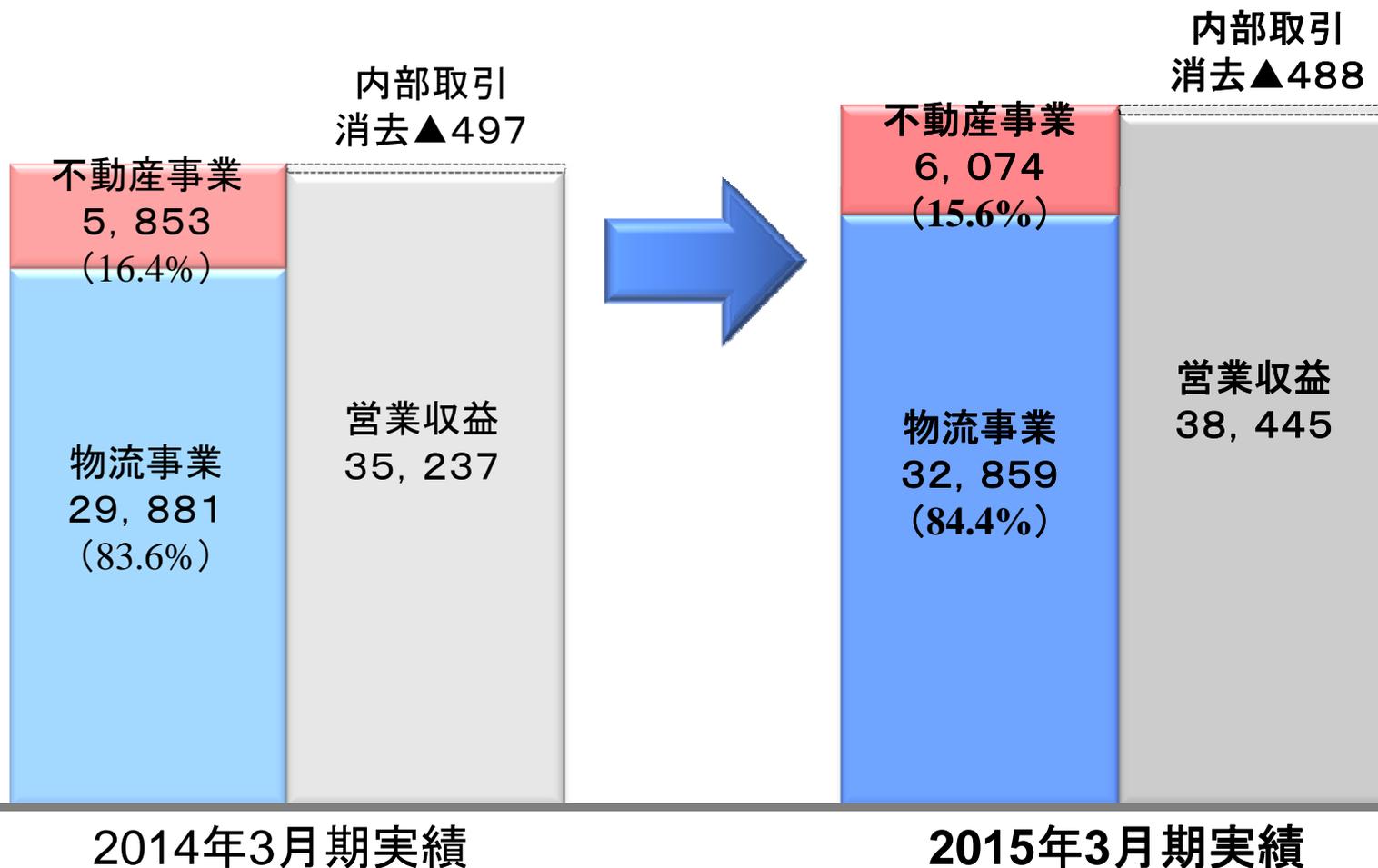




セグメント別営業収益



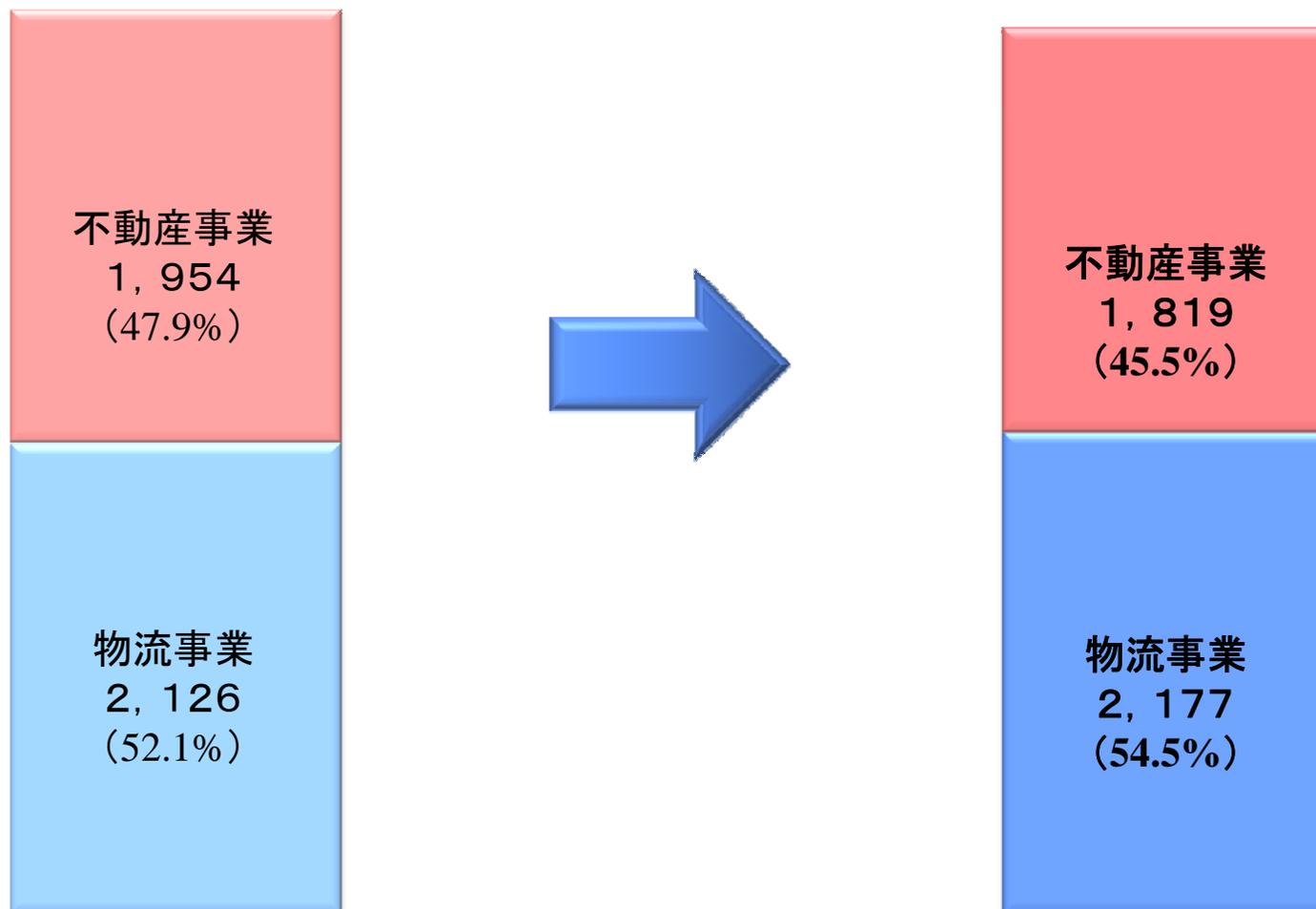
単位:百万円



セグメント別営業利益



単位:百万円



2014年3月期実績

2015年3月期実績

連結財政状態

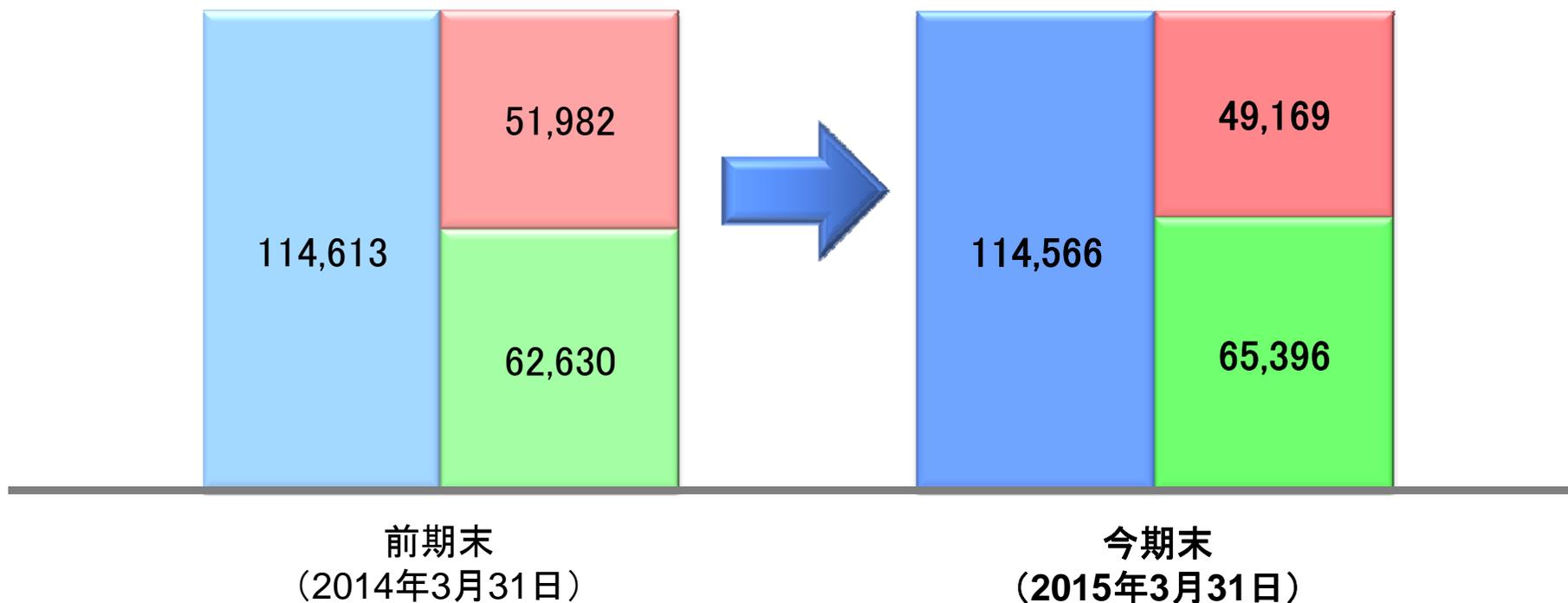


■ 総資産

■ 純資産

■ 負債

単位：百万円



主な要因

◆ 総資産：固定資産の減少、投資有価証券の売却による減少

◆ 負債：長期借入金の減少、繰延税金負債の減少

◆ 純資産：利益剰余金の増加、有価証券評価差額金の増加

単位：百万円

保管料

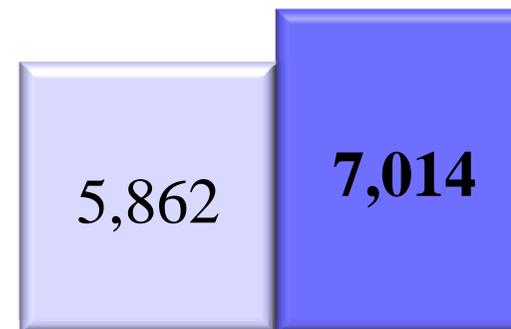
■ 14/03期 ■ 15/03期



既存施設の賃貸スペース化や料金改定などの影響により前期比減収

倉庫作業料

■ 14/03期 ■ 15/03期

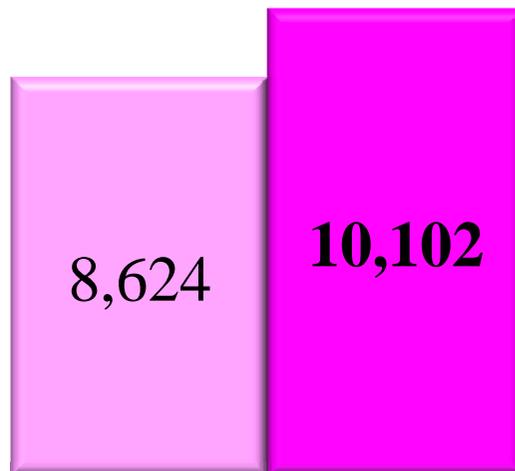


第一三共社をはじめとする新規業務の開始やITキッティングを含む既存業務の拡大などにより前期比増収

単位：百万円

陸運料

■ 14/03期 ■ 15/03期



高木工業物流の連結や第一三共社の配送受託、ATM関連の取扱が堅調に推移したことにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 14/03期 ■ 15/03期



大型設備輸送の受託などにより前期比増収

単位：百万円

物流賃貸料

■ 14/03期 ■ 15/03期



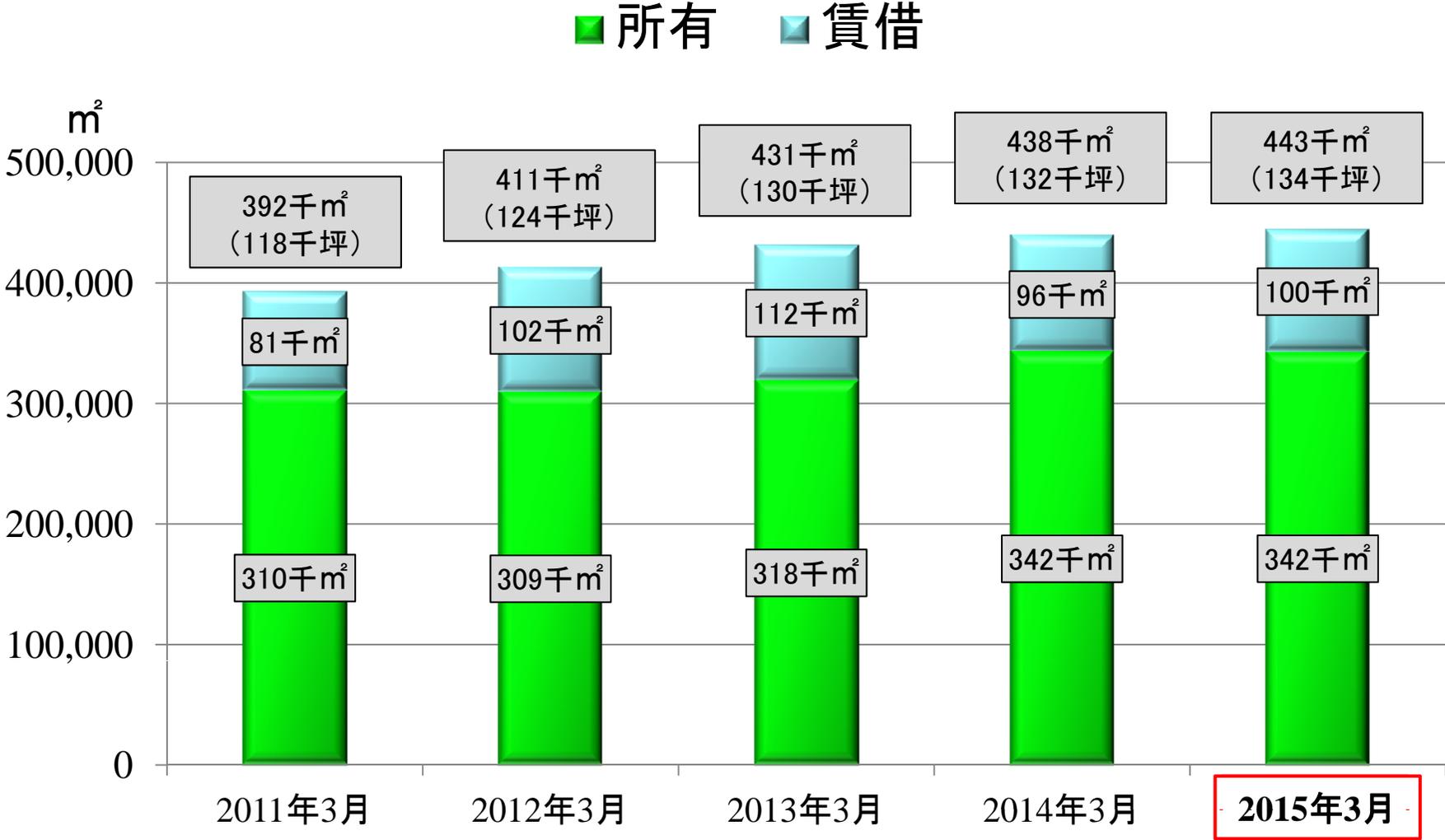
茨木営業所の稼働や賃貸スペースの増加などにより前期比増収

その他(物流)

■ 14/03期 ■ 15/03期



第一三共社の取扱開始などにより前期比増収



メディカル分野拡大に向けた取組み

- ◆ 医薬品及び医薬部外品の取扱拡大
- ◆ 医療機器の取扱拡大
- ◆ 医薬品共同配送への取組み
- ◆ メディカル関連業務の拡大
- ◆ ISO13485の取得検討



ITキッティング拡大に向けた取組み

◆ITキッティングユニットの設立

◆キッティングセンターの統合へ(芝浦)

- ・災害時の業務継続能力の向上、セキュリティの強化
- ・統合による競争力の強化
- ・一元管理による管理機能の強化



1. 新規取引の開始

- (1) 情報処理サービス会社への賃貸 …… 茨木営業所
- (2) ファッションブランドの保管
(コレクションアーカイブ) …… 加須第二営業所

2. 既存取引の拡大

- (1) 大型設備の輸送 …… 国際輸送センター
- (2) アミューズメント品の保管／配送業務 …… 大黒流通センター
- (3) 情報処理サービス会社のキitting業務 …… ITキittingユニット

…など

高木工業物流株式会社の株式取得

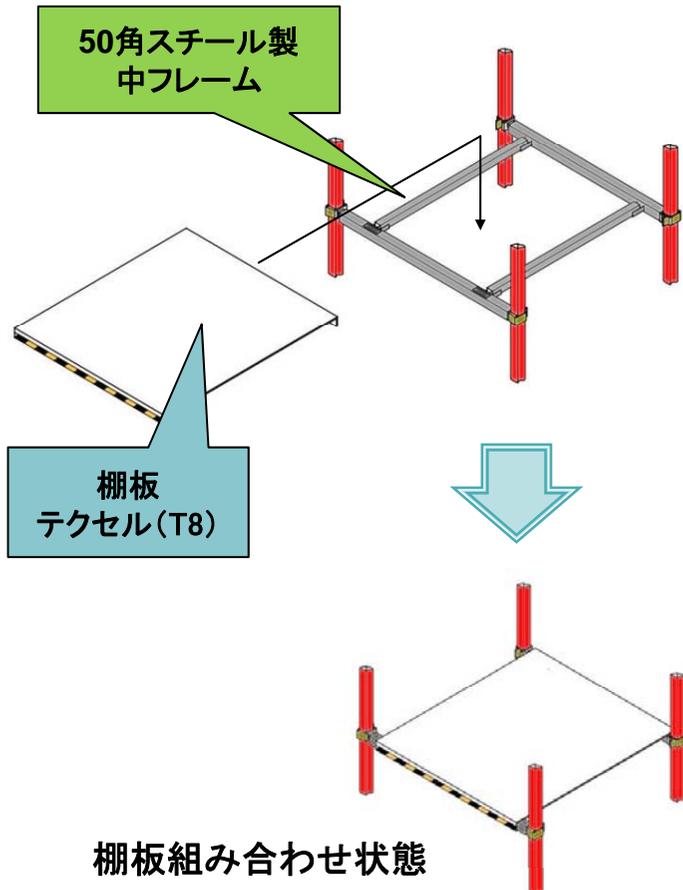
◆ 運送事業

- ・ 既存顧客を中心に拡大
- ・ 安田運輸との協力体制（東西幹線輸送）

◆ 請負・派遣事業

- ・ 九州地区で派遣事業を開始

JBL 新型ネステナー中間棚の開発



実例



全日本物流改善事例大会2015にて
優秀事例として発表！

単位:百万円

不動産賃貸料

■ 14/03期 ■ 15/03期



テナントの入れ替えによるフリーレントの発生や料金改定等により前期比減収

その他(不動産)

■ 14/03期 ■ 15/03期



大型工事の受注等により前期比増収

設備投資・借入金



単位:百万円

	14/03期	15/03期	増減額	16/03期 (予想)
設備投資額	3,597	2,093	▲1,504	3,353
主な投資案件	<ul style="list-style-type: none"> ・茨木営業所設備投資 ・区分所有の購入 など 			
減価償却費	2,129	2,241	112	2,275
期末借入金残高	25,005	22,795	▲2,210	23,817

3. 2016年3月期 通期の見通し

業績予想(通期)



単位:百万円

	15/03期	16/03期			前期比	
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
営業収益	38,445	19,600	20,400	40,000	1,555	4.0%
営業利益	2,298	700	1,300	2,000	▲298	▲13.0%
経常利益	2,565	850	1,450	2,300	▲265	▲10.4%
当期純利益	1,636	200	950	1,150	▲486	▲29.7%

- ・営業収益は、高木工業物流株式会社の通期寄与、貨物取扱の拡大などにより増収を見込む
- ・営業利益は、再開発を見込んだテナント契約終了の影響などにより減益を見込む
- ・当期純利益は、再開発に向けた固定資産の棄却により減益を見込む

- ◆ **メディカル分野の深耕拡大**
- ◆ **キitting関連の業容拡大**
- ◆ **高品質かつ柔軟な輸送体制の構築**
- ◆ **国際貨物取扱の拡大**
- ◆ **中国(上海)の倉庫事業拡大**
- ◆ **鶴屋町の再開発推進**

<配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2012年3月期	年間配当14円	(連結配当性向29.9%)
2013年3月期	年間配当14円	(同26.6%)
2014年3月期	年間配当14円	(同27.2%)
2015年3月期	年間配当14円	(同26.0%)
2016年3月期	配当水準維持予定	

年間配当14円予定

(中間配当：7円、期末配当：7円)

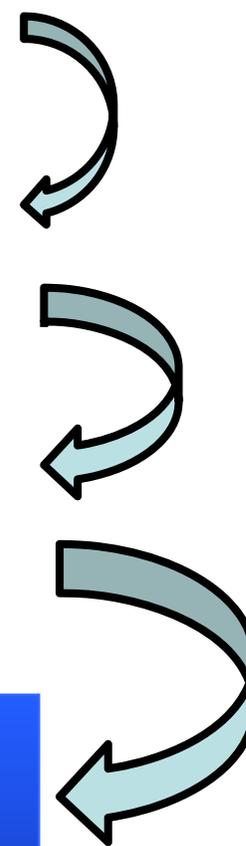
お客様を支える存在になる為に

「品質」と「生産性」の向上

お客様の潜在ニーズに
先回りして応える営業

ソリューション提案型企业

Cs STEP 2015
サプライチェーンを支える優れた
物流企業



YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。